

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
 (予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	7,032,775	6,804,837
決算	6,951,947	
人件費(A)	89,200	96,200
報酬(B)	106	423
年間経費(予算又は決算+A+B)	7,041,253	6,901,460

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
企業債残高	億円	246	目標	213	213
			実績	213	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標どおりの251億円(水道213億円、簡水38億円)となり、企業債残高の抑制が図られた。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○水道事業の経営管理

・持続可能かつ健全な経営の推進

○水道事業に係る組織・人事管理

・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化

○災害対策事業

・部内及び他都市連携による防災訓練の実施

○水道の普及啓発事業

・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-		○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	5,280,200	5,061,468
	決算	5,208,754	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	5,182,851	5,037,802
	一般会計繰入金	25,903	23,666
人件費(報酬等)(千円)		106	423
人件費(千円)		89,200	96,200
人工	正規	12.0	13.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	2.0	2.0
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
企業債残高(億円)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	213	213			246
実績値	213				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
職員定数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	164	161			146
実績値	162				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
防災訓練(研修)の実施回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15	15			15
実績値	15				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
啓発事業の開催回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1	1			1
実績値	1				

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 01 00770100

(担当課)
上下水道総務課

(責任者)
上久保 明治

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 水道事業の経営管理
 - ・持続可能かつ健全な経営の推進
- 水道事業に係る組織・人事管理
 - ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
- 災害対策事業
 - ・部内及び他都市連携による防災訓練の実施
- 水道の普及啓発事業
 - ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標どおりの251億円(水道213億円、簡水38億円)となり、企業債残高の抑制が図られた。
- ・正規職員数については、事務事業の見直しなどにより、目標に比べ△2人削減の162人となり、人件費の削減が図られた。
- ・災害や事故など不測の事態を想定した業務継続計画(BCP)を策定した。また、部内の防災訓練や他都市との連携による防災訓練などを15回の目標に対し計画通り実施した。
- ・平成27年8月2日、浜松市ギャラリーモール「ソラモ」にて、水道、下水道を身近に感じ、体験できるイベント「上下水道フェスタ」を開催し上下水道の普及啓発に努めた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 01 00770100 01

(担当課)
上下水道総務課

(責任者)
上久保 明治

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇取組概要

水道事業における企業債残高の増加を抑制し、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。

◇行財政改革の視点

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 2005

取組事項名 水道事業における企業債残高の削減

個別計画等 計画名等 水道事業中期財政計画

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	建設事業費(億円)	計画値	42.8	46.4	56.6	51.7	40.0
		実績値	34.7				
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)							

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》

・建設事業費を計画値42.8億円から34.7億円に削減し、その結果、企業債借入が抑制され残高の削減が図られた。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○企業債償還金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,752,575	1,743,369
	決算	1,743,193	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	1,693,485	1,697,481
	一般会計繰入金	49,708	45,888
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
企業債残高(億円)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	213	213			246
実績値	213				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○企業債償還金

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標どおりの251億円(水道213億円、簡水38億円)となり、企業債残高の抑制が図られた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
 (予算費目名) 水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	58,478	101,851
決算	58,478	
人件費(A)		
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	58,478	101,851

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	水道事業会計負担金					101,851	101,851					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						101,851	101,851					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	58,478	101,851
	決算	58,478	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源		
	一般会計繰入金	58,478	101,851
	人件費(報酬等) (千円)		
	人件費 (千円)		
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
 (予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	6,272	18,134
決算	5,133	
人件費(A)	81,880	83,080
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	87,013	101,214

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
共同住宅における小規模貯水槽の設置残件数	件	1,100	目標	—	1,801
			実績	1,888	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
 浜松市水道事業ビジョンに基づき共同住宅の小規模貯水槽設置数の減数を目指し、貯水槽方式から直結方式へ切り替えるよう周知を図ってきました。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	101,214	18,134	10.3	2.3	0.5	0.5	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						101,214	18,134	10.3	2.3	0.5	0.5	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

適正な給水装置工事のため指定工事業業者に対する技術的指導及び水道使用に関する監督・指導を行う。

◇事業の概要

○給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業

・指定事業者を対象とした技術講習会の実施

○給水装置工事の相談・受付・検査業務

・給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	6,272	18,134
	決算	5,133	
	国・県支出		
	市債		
	その他	5,133	18,134
	一般財源		
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		81,880	83,080
人工	正規	10.2	10.3
	再任用(h31)	1.8	2.3
	再任用(h26)	1.0	0.5
	非常勤	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
指定工事業業者の違反行為(件)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	0	0	0		0
実績値	2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業
・指定事業者を対象とした技術講習会の実施

○給水装置工事の相談・受付・検査業務
・給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・給水装置工事指定事業者を対象とした技術講習会を2回開催する等、適正な給水装置の施工及び上水道使用に関する技術的指導を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部委託 / - 事業費 縮小 人工 縮小

・平成29年度より給水装置工事申込み(受付)及び完成検査業務の一部を業務委託することにより、事業費及び人工の縮小が見込まれる。

・事業の分類

大分類 管理・監視 細分類 検査・監視指導

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る
より高度なICTを取り入れ、検針業務や料金等徴収業務を省力的かつ一体的に管理する

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	900,769	1,036,278
決算	867,757	
人件費(A)	160,200	167,200
報酬(B)	32,555	
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,060,512	1,203,478

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
検針業務等の包括委託		継続運用	目標	委託仕様検討・作成	入札執行
			実績	委託仕様検討・作成	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る
より高度なICTを取り入れ、検針業務や料金等徴収業務を省力的かつ一体的に管理する

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

H29年度より包括委託をすべく、仕様書作成にあたりより効率的な業務ができるよう検討するなど、業者選定(入札)に向け順調に作業を進めてきている。H28年度の早い時期に選定予定。
より高度なICTを取り入れた機種(最新のスマートメーター等)の導入については他都市でも研究段階で、今後の開発導入状況について、常にアンテナを立て情報収集をしながら研究を進めていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)		○	○		1,203,478	1,036,278	23.0	1.0	1.0		
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,203,478	1,036,278	23.0	1.0	1.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る
 より高度なICTを取り入れ、検針業務や料金等徴収業務を省力的かつ一体的に管理する
 水道事業の経営を支える水道料金収入の確保

◇事業の概要

【重点戦略項目No.101】
 料金収入の安定確保：新たに滞納に回る分を減らし、滞納分の早期解決を図り、収入の安定確保を目指す
 収納関係事務：包括委託することで、業務の効率化や経費の削減を図る
 検針・調定業務：包括委託することで、業務の効率化や経費の削減を図るとともに、より安全で軽量、高性能、低コストな検針システムの導入を目指す

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務	水道法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	900,769	1,036,278
	決算	867,757	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	867,757	1,036,278
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)		32,555	
人件費(千円)		160,200	167,200
人工	正規	22.0	23.0
	再任用(h31)	1.0	1.0
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
検針業務等の包括委託				-	101
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	委託仕様検討・作成	入札執行	委託開始	継続運用	継続運用
実績値	委託仕様検討・作成				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 04 07710000

(担当課)
料金課

(責任者)
村松 祐司

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.101】

料金収入の安定確保：新たに滞納に回る分を減らし、滞納分の早期解決を図り、収入の安定確保を目指す

収納関係事務：包括委託することで、業務の効率化や経費の削減を図る

検針・調定業務：包括委託することで、業務の効率化や経費の削減を図るとともに、より安全で軽量、高機能、低コストな検針システムの導入を目指す。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

料金収入の安定確保について、

口座振替やクレジットカード制度を推奨し、新たな滞納発生を防ぐとともに、停水の強化をはじめ滞納分の早期可決を図っている。

収納関係事務について

予定通りH29年度より包括委託をすべく、仕様書作成にあたり、より効率的な業務ができるよう検討するなど、業者選定(入札)に向け順調に作業を進めてきている。

検針・調定業務について

予定通りH29年度より包括委託をすべく、仕様書作成にあたり、より効率的な業務ができるよう検討するなど、業者選定(入札)に向け順調に作業を進めてきている。また、最新のスマートメーター導入は他都市でも研究段階であり、今後の開発導入状況についてアンテナを高くして情報収集をし研究を進めていく。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / ICT化 事業費 現状 人工 現状

一部包括委託をH27から実施したが、委託した分の職員減による影響が大きくなるのを実感した。課員皆で協力して乗り切ってきた。

水道事業でのスマートメーター化についての研究は、電気ガスに比べ遅れており、先進政令市でもなかなか進んでいない。今後の動向に注意していく。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / ICT化 事業費 現状 人工 現状

H29から包括委託範囲も増え、さらなる職員減が予想されるが、委託化した業務のモニタリング方法も研究するなど、創意工夫で乗り切っていきたい。

スマートメーターの導入について、常にアンテナを高くして情報収集をしていく。

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 収入・徴収

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 04 07710000 01

(担当課)
料金課

(責任者)
村松 祐司

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

補助シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
101	H29からの委託に向けた、現状の委託内容や新規委託の仕様書の作成	入札 委託業務の研修指導	5年間の委託業務開始 業務内容のモニタリング	業務内容のモニタリング
〇〇				

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇取組概要

検針業務等を包括委託することにより、さらなる業務の効率化と経費節減につながる仕様書を作成する。委託開始後は、業務の進捗状況をモニタリングすることで委託の効果を上げる。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	検針業務等の包括委託	計画値	委託仕様	入札執行	委託開始	継続運用
		実績値	100			
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》

検針業務等の包括委託の実施に向けて、効果的な仕様の検討を行い、仕様書を作成した。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	2,960,641	3,543,138
決算	2,631,703	
人件費(A)	354,400	354,400
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,986,103	3,897,538

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
浜松地区基幹管路耐震適合率	%	100	目標	56.8	58.2
			実績	55.7	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。
- ・水道事業を取り巻く環境変化への対応のため、新たな浜松市水道事業ビジョンを策定。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている

- ・配水幹線の耐震化において、浜松地区基幹管路耐震適合率が目標の56.8%に対し実績が55.7%と計画よりやや遅れている。

今年度は、他事業との調整に伴い一部区間を次年度に先送りしたため進捗が遅れたが、今後は事前に他事業と調整し進捗を図る。

- ・水道事業を取り巻く環境変化への対応のため、新たな浜松市水道事業ビジョンを策定した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	607,076	427,676	22.0	2.0	7.0		
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	3,290,462	3,115,462	25.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,897,538	3,543,138	47.0	2.0	7.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ 事業対象 水道配水管および付属施設

◇事業の概要

・配給水管維持管理事業 ・水道地理情報管理システム整備事業 ・消火栓維持管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	392,102	427,676
	決算	347,241	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	347,241	427,676
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		179,400	179,400
人工	正規	22.0	22.0
	再任用(h31)	2.0	2.0
	再任用(h26)	7.0	7.0
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
水管橋防蝕事業(対象25橋) (%)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	76.0	80	100		100.0
実績値	76				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・配給水管維持管理事業
- ・水道地理情報管理システム整備事業
- ・消火栓維持管理事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・水管橋防蝕事業において、目標の76.0%を達成し長寿命化の効果が図られた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・水管橋防蝕事業において、目標の76.0%を達成し長寿命化の効果が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き計画に基づき事業を進め、平成30年度における水管橋防蝕事業100%完了を目指す。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新 事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 配水管布設事業 消火栓設置事業(拡張費) 老朽管等更新事業 管路耐震化事業 消火栓設置事業(改良費)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	2,568,539	3,115,462
	決算	2,284,462	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	2,284,462	3,115,462
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		175,000	175,000
人工	正規	25.0	25.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
浜松地区基幹管路耐震適合率 (%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	56.8	58.2			100.0
実績値	55.7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)
- ・浜松市水道事業ビジョン(H27～H36)策定

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・配水幹線の耐震化において、浜松地区基幹管路耐震適合率が目標の56.8%に対し実績が55.7%と計画よりやや遅れている。
今年度は、他事業との調整に伴い一部区間を次年度に先送りしたため進捗が遅れたが、今後は事前に他事業と調整し進捗を図る。
- ・水道事業を取り巻く環境変化への対応のため、新たな浜松市水道事業ビジョンを策定した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・配水管線の耐震化において、浜松地区基幹管路耐震適合率が目標の56.8%に対し実績が55.7%と計画よりやや遅れている。
今年度は、他事業との調整に伴い一部区間を次年度に先送りしたため進捗が遅れたが、今後は事前に他事業と調整し進捗を図る。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

管路の耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	3,213,776	3,400,293
決算	3,142,018	
人件費(A)	136,400	129,600
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,278,418	3,529,893

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
水質基準超過件数	件	0	目標	0	0
			実績	0	
水需要に対する水源確保率 (取水能力/配水量)	%	150	目標	150	150
			実績	158	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・安心・安全な水道水給水を安定的に継続した。水道法等に基づく給水栓等の水質検査51項目、自主的な原水の水質検査51項目を実施した。
- ・水源水域の土地利用調査、自己水源(深井戸)の維持管理、三方原用水の維持管理を実施した。三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)の協定書締結、一部更新工事開始。
- ・施設維持管理のため委託、工事、補修、自家用電気工作物管理を実施。浄水場の委託業者を監督するとともに、協力・連携の体制強化を図った。施設見学対応に派遣業者を委託し4,933人を受入。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	3,529,893	3,400,293	17.0		3.0	1.0	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,529,893	3,400,293	17.0		3.0	1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

安全な水道水を供給するため水道法に基づく定期水質検査及び必要な検査を実施し、その結果を公表し安全な水道水のPRを行う。また、水道水源の流域の化学物質等を排出する事業所の把握等水源水質の監視を行う。必要な水量確保のため、県企業局からの受水、三方原用水や井戸の維持管理を行う。取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務を行う。

◇事業の概要

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談 ・簡易水道及び洗管水の水質検査
- 水源水質保全
 - ・水源水域の土地利用調査及び水質状況調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・浄水汚泥処理(汚泥脱水機運転・点検及び天日乾燥床の管理)
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	3,213,776	3,400,293
	決算	3,142,018	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	3,142,018	3,400,293
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		136,400	129,600
人工	正規	18.0	17.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	4.0	3.0
	非常勤		1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
水質検査項目数(件)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	63	63	63		63
実績値	63				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
原水水質検査回数(回/年)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	4	4	4		4
実績値	4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
取水能力(m ³ /日)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	294,363	294,840	294,363		294,363
実績値	294,840				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
配水量(m ³ /日)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	192,726	192,726	192,726		192,726
実績値	186,851				

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 水質検査及び水質管理
- ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談 ・簡易水道及び洗管水の水質検査
- 水源水質保全
- ・水源水域の土地利用調査及び水質状況調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
- ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・浄水汚泥処理(汚泥脱水機運転・点検及び天日乾燥床の管理)
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- 水質検査及び水質管理
- 水道法等に基づく給水栓等の水質検査51項目、自主的に行う原水の水質検査を給水栓と同じ51項目実施。市民相談は77件(平成28年3月24日現在)に対応。簡易水道のH29年度市水道への統合に向け検査体制の準備を進めた。
- 水源水質保全
- 水源水域の土地利用調査、自己水源(深井戸)の維持管理を行い水源水質の保全に努めた。三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)の協定書を締結し、一部更新工事が開始された。
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
- 計画的な取水・配水及び県水受水を行い、濁水及びダム点検工事には節水対策(32日間)を実施した。浄水施設維持管理のため委託、工事、補修、自家用電気工作物管理を実施。浄水汚泥処理(汚泥脱水機及び天日乾燥床)を実施しつつ、汚泥改良土への取組を行い、一部水道工事へ試験的使用を実施した。浄水場委託業者の管理監督・例月評価を行うとともに協力と連携の体制強化を図った。管理監督浄水場施設見学の受入・案内に派遣業者を委託し、全68件4,933人を受け入れた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

一部民間委託している浄水場運転管理業務が平成27年度で契約終了となるため、平成28年度から新たな委託契約を締結するにあたり、個別委託している業務を包括化して契約することにより業務の効率化を図り、平成28年度から職員1名を削減した。

包括化した浄水場運転管理業務の受託者との連携を進め、安心・安全で低廉な飲料水の供給を継続するとともに、老朽化した施設の適正な修繕・更新を図り、水源汚染等の危機管理及び高度浄水処理の可能性の検討を行う。

・事業の分類

大分類 細分類

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	1,356,311	1,514,262
決算	1,251,097	
人件費(A)	207,800	205,200
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,458,897	1,719,462

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
北部管内基幹管路耐震化適合率	%	100	目標	63.5	70.1
			実績	63.5	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- ＜進捗＞ 計画通り
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備を計画に基づき実施しました。
 - ・基幹管路耐震化事業については、適合率63.5%を目標に実施し、目標を達成させました。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	526,663	356,463	21.0	5.0	2.0		
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	1,192,799	1,157,799	5.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,719,462	1,514,262	26.0	5.0	2.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的
適正な水道供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ。
事業対象
水道配水管および付属施設。

◇事業の概要

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・水道事業広報事業
- ・災害対応の強化

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	329,337	356,463
	決算	277,963	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	277,963	356,463
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		172,800	170,200
人工	正規	22.0	21.0
	再任用(h31)	3.0	5.0
	再任用(h26)	2.0	2.0
	非常勤	1.0	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市民からの苦情(件数)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	290	288	283	281	270
実績値	227				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・水道事業広報事業
- ・災害対応の強化

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・老朽管等更新事業などの推進により、漏水件数が減少傾向にあります。漏水時の対応では漏水修繕等を迅速に行い、市民への周知をすることで目標を達成しました。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・老朽管等更新事業の推進と漏水や濁水時等の迅速な対応及び市民への周知を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・老朽管等更新事業の継続と漏水等の迅速な対応及び市民への周知を行う。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新 事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・配水管布設事業 ・施設整備事業 ・消火栓設置事業(拡張費) ・老朽管等更新事業 ・管路耐震化事業 ・施設改良事業費 ・施設耐震化事業 ・消火栓設置事業(改良費) ・安定供給システムの構築

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,026,974	1,157,799
	決算	973,134	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	973,134	1,157,799
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		35,000	35,000
人工	正規	5.0	5.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
北部管内基幹管路耐震化適合率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	63.5	70.1	80.0	83.5	100
実績値	63.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・施設整備事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・施設改良事業費
- ・施設耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)
- ・安定供給システムの構築

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・各事業の実施 管路耐震化事業など地震時に影響が大きい基幹管路の整備を計画的に行っています。今後も計画に基づき実施をします。
- ・基幹管路の耐震化適合率は事業計画により実施した結果、目標値を達成しました。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業計画により実施しました。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業計画を継続します。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	351,589	468,399
決算	322,205	
人件費(A)	63,700	63,200
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	385,905	531,599

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
配水管布設事業〔船明土地区画整理区域内〕	%	100	目標	44.3	74.5
			実績	46.0	
管路耐震化事業〔基幹管路・配水幹線〕	%	100	目標	66.7	70.8
			実績	67.4	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備を計画に基づき実施しました。
- ・配水管布設事業〔船明土地区画整理区域内〕については、進捗率44.3%を目標に実施し、目標を達成させました。
- ・基幹管路耐震化事業については、適合率66.7%を目標に実施し、目標を達成させました。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	239,870	190,670	6.0	2.0			
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	291,729	277,729	2.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						531,599	468,399	8.0	2.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、水道施設および管路を正常な状態に保つ 事業対象 水道施設および管路

◇事業の概要

・施設管理事業 ・配給水管維持管理事業 ・消火栓維持管理事業 ・配水給水管切替事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	68,891	190,670
	決算	56,754	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	56,754	190,670
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		49,700	49,200
人工	正規	6.0	6.0
	再任用(h31)	1.0	2.0
	再任用(h26)	0.5	
	非常勤	1.0	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 08 07760000

(担当課)
天竜上下水道課

(責任者)
小木 要

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・配水給水管切替事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

現行

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

現行

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新 事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 配水管布設事業 消火栓設置事業(拡張費) 老朽管等更新事業 管路耐震化事業 消火栓設置事業(拡張費) 施設改良事業 施設耐震化事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	282,698	277,729
	決算	265,451	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	265,451	277,729
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		14,000	14,000
人工	正規	2.0	2.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
配水管布設事業[船明土地区画整理区域内](%)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	44.3	74.5	100		100
実績値	45.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
管路耐震化事業[基幹管路・配水幹線](%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	66.7	70.8	80.3	84.3	100
実績値	67.2				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・施設改良事業
- ・施設耐震化事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・各事業の実施 特に管路耐震化事業など地震時に影響が大きい基幹管路及び配水幹線の整備を計画的に行っています。今後も計画に基づき実施をします。
- ・船明土地区画整理区域内の配水管布設事業進捗率、基幹管路及び配水幹線の耐震化適合率は事業計画により実施した結果、目標値を達成しました。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業計画により実施しました。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業計画を継続します。

・事業の分類

大分類 細分類

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 飲料水供給施設費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- (1) 濁水や濁水に対応した取水施設や浄水施設の整備に努め、自然環境変化の影響を最小限に抑えるとともに、水質管理を徹底し、安全でおいしい水の供給を目指します。
- (2) 小規模水道に特化した施設整備手法の検討を行い、効果的かつ計画的な施設の更新により、いつでも安定した飲料水の供給を目指します。
- (3) 水道施設の必要な知識・技術の継承に努め地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理を推進し地域とともに作る水道の持続を目指します。
- (4) 大規模地震や台風など災害時でも飲料水が確保できる体制づくりを目指します。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	78,273	79,714
決算	76,661	
人件費(A)	28,000	28,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	104,661	107,714

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
水質検査受検率	%	100	目標	95	
			実績	93	
水質適合率	%	100	目標	95	
			実績	82	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- (1) 濁水や濁水に対応した取水施設や浄水施設の整備に努め、自然環境変化の影響を最小限に抑えるとともに、水質管理を徹底し、安全でおいしい水の供給を目指します。
- (2) 小規模水道に特化した施設整備手法の検討を行い、効果的かつ計画的な施設の更新により、いつでも安定した飲料水の供給を目指します。
- (3) 水道施設の必要な知識・技術の継承に努め地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理を推進し地域とともに作る水道の持続を目指します。
- (4) 大規模地震や台風など災害時でも飲料水が確保できる体制づくりを目指します。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

飲料水供給施設の維持修繕を行うほか、高齢化や過疎化で維持管理が困難な水道組合に対し、維持管理委託費と水質検査費を助成し、安全で安定した生活用水の供給を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	飲料水供給施設等維持管理事業					15,579	8,579	1.0				
2	飲料水供給施設等整備事業					77,607	63,607	2.0				
3	飲料水供給施設等管理助成事業(補助金)					14,528	7,528	1.0				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						107,714	79,714	4.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等維持管理事業

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設及び公設民営簡易水道施設の修繕を行い、生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

飲料水供給施設等の修繕のほか、事業活動全般に関する庶務事務等を行う。
 (公設飲料水供給施設158施設、公設民営簡易水道施設4施設)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	19,605	8,579
	決算	19,421	
	国・県支出		
	市債		
	その他	1,125	720
	一般財源	18,296	7,859
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 09 07760000

(担当課)
天竜上下水道課

(責任者)
小木 要

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

飲料水供給施設等の修繕のほか、事業活動全般に関する庶務事務等を行う。
(公設飲料水供給施設158施設、公設民営簡易水道施設4施設)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

漏水等の緊急修繕を実施、安定した飲料水の供給に努めた。
施設維持修繕 32件 18,736千円

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

各施設の維持管理は、施設の管理者や地域住民が主体となって行われていますが、過疎化や高齢化により維持管理が困難な状況になっています。そこで、維持を基本とした施設の改修に重点をおき、有事における迅速な対応を図るため、地元水道業者との連携を深めるための検討や、安全な飲料水の確保のための支援方策、施設の延命化のための維持管理手法、補助制度の見直しを検討する必要があるが、検討に至っていない。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

過疎化や高齢化により人口減少はより進むと思われ、施設の更新は過大な投資に繋がりがかねない。維持を基本とした施設の改修に重点をおき、有事における迅速な対応を図るため、地元水道業者との連携を深める中で、安全で良質な水道水を安定供給を図っていくほか、支援方策、施設の延命化のための維持管理手法、補助制度の見直しを検討する

・事業の分類

大分類 維持管理運営

細分類 施設管理運営(その他)

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等整備事業

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設及び公設民営簡易水道施設の浄水施設整備、取水施設整備及び老朽管更新などの施設整備を行い、安心安全な生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業
- (2) 水源施設整備事業
- (3) 統合適正化整備事業
- (4) 老朽管更新などの施設更新整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	53,127	63,607
	決算	51,699	
	国・県支出		
	市債	44,100	52,600
	その他	2,898	6,359
	一般財源	4,701	4,648
一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		14,000	14,000
人工	正規	2.0	2.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
消毒設備設置率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	88	90			100
実績値	87				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 09 07760000

(担当課)
天竜上下水道課

(責任者)
小木 要

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業
- (2) 水源施設整備事業
- (3) 統合適正化整備事業
- (4) 老朽管更新などの施設更新整備事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業 3事業
- (2) 水源施設整備事業 1事業
- (3) 統合適正化整備事業 2事業
- (4) 老朽管更新などの施設更新整備事業 3事業

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少が進む中で、過大な投資とならぬように個々の施設に応じた工法の見直しを検討し事業費の削減を図っていく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少が進む中で、過大な投資とならぬように工法の見直しを検討し事業費の削減を図っていく。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等管理助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設及び公設民営簡易水道施設の水質検査及び維持管理委託費用の一部を助成し、適正な維持管理を促進して安心安全な生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

- (1)水質検査に対する助成
- (2)維持管理の委託費用に対する助成

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	5,541	7,528
	決算	5,541	
	国・県支出		
	市債		
	その他	3,000	4,100
	一般財源	2,541	3,428
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
水質検査受検率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	95	95			100
実績値	93				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
水質適合率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	85	95			100
実績値	82				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 09 07760000

(担当課)
天竜上下水道課

(責任者)
小木 要

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- (1)水質検査に対する助成
(2)維持管理の委託費用に対する助成

・事業の成果と課題

指標の達成度

- (1)水質検査に対する助成 142施設
(2)維持管理の委託費用に対する助成 52施設

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

利用者が1世帯となっている飲供施設も数施設あり、こうした施設の受検が進まない。衛生管理の重要性を理解していただくよう努める。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

管理者講習会を通じて衛生管理の重要性を理解していただくように努め水質検査実施率・適合率を100%に向上させる。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
 (予算費目名) 小規模水道施設費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	9,691	3,371
決算	9,313	
人件費(A)	1,800	1,800
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	11,113	5,171

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

- 施設改修 9件
- 水質検査 8件
- 維持管理委託 2件
- 水の宅配 0件

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	生活用水応援事業					5,171	3,371		0.5			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						5,171	3,371		0.5			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生活用水応援事業

◇事業目的・事業対象

特定未普及地域の生活用水の確保を支援し、市民がいつでも安心して生活できるように努める。

◇事業の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H21	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	9,691	3,371
	決算	9,313	
	国・県支出		
	市債		
	その他	3,700	107
	一般財源	5,613	3,264
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		1,800	1,800
人工	正規		
	再任用(h31)	0.5	0.5
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 10 07760000

(担当課)
天竜上下水道課

(責任者)
小木 要

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

施設改修 9件

水質検査 8件

維持管理委託 2件

水の宅配 0件

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市水道が提供できていない水道未普及地域の住民は水道施設等の設置及び維持管理を自己責任で全額自己負担で行っているため、衛生的にも好ましい状況になく、施設改修、水質検査及び維持管理委託の費用の一部を助成する補助制度を創設し、衛生管理の必要性和費用負担の軽減を図った。また、濁水や濁水により生活用水の確保が困難な世帯には、水の宅配サービスを行い安全で良質な生活用水の確保を行い、住み慣れた地域でいつまでも生活できるように努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

特定未普及地域の状況把握に努め、引き続き安全安心な飲料水の確保を支援していく

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 簡易水道事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

安全で良質な水道水を安定供給するために、簡易水道施設の施設整備や維持管理、水道法に基づく水質検査及び簡易水道事業全般に関連する管理運営事業を行なう。

【対象事業数】 32簡易水道事業

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	1,037,900	1,074,000
決算	957,414	
人件費(A)	87,800	87,800
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,045,214	1,161,800

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

安全で良質な水道水を安定供給するために、簡易水道施設の施設整備や維持管理、水道法に基づく水質検査及び簡易水道事業全般に関連する管理運営事業を行なう。

【対象事業数】 32簡易水道事業

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

隣接する飲料水供給施設や未普及地域を取り込むための施設整備や老朽管の布設替などの基幹改良を行った。また、地震対策事業では、配水池の耐震改築工事を実施した。

水道事業費 98,862千円
 施設管理費 130,233千円
 施設整備事業費 464,419千円
 公債費ほか 263,900千円

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	簡易水道事業					1,161,800	1,074,000	11.0	3.0			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,161,800	1,074,000	11.0	3.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 簡易水道事業

◇事業目的・事業対象

市民がいつでも安心して利用できる信頼される水道水の供給を進めるとともに、簡易水道事業の経営健全化を推進する。
 対象事業数 32簡易水道事業

◇事業の概要

安全で良質な水道水を安定供給するために、簡易水道施設の施設整備や維持管理、水道法に基づく水質検査及び簡易水道事業全般に関連する管理運営事業を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	H28	特別会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,037,900	1,074,000
	決算	957,414	
	国・県支出	47,338	107,597
	市債	317,200	389,800
	その他	5,927	746
	一般財源	185,062	188,548
一般会計繰入金		401,887	387,309
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		87,800	87,800
人工	正規	11.0	11.0
	再任用(h31)	3.0	3.0
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 01 12 07760000

(担当課)
天竜上下水道課

(責任者)
小木 要

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

安全で良質な水道水を安定供給するために、簡易水道施設の施設整備や維持管理、水道法に基づく水質検査及び簡易水道事業全般に関連する管理運営事業を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

隣接する飲料水供給施設や未普及地域を取り込むための施設整備や老朽管の布設替などの基幹改良を行った。また、地震対策事業では、配水池の耐震改築工事を実施した。

水道事業費 98,862千円
施設管理費 130,233千円
施設整備事業費 464,419千円
公債費ほか 263,900千円

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

施設整備は概ね計画通りに実施できたが、施設保守など維持管理については項目や回数など調整を図る必要がある

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

平成29年3月末日の上水道への経営統合に向けて、簡易水道事業のより効率的な施設管理と整備手法の検討を行い歳出の削減を図る。

・事業の分類

大分類 維持管理運営

細分類 施設管理運営(その他)